

瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業

瀬戸フィルハーモニー交響楽団



SETOUCHI オーケストラ × 映像美 CONCERT

映像とともに、次の楽曲等を抜粋・編曲して演奏

- ドビュッシー：交響詩「海」第1楽章より
- ブラームス：交響曲第1番 第1楽章より
- ブルックナー：交響曲第3番 第3楽章より
- マーラー：交響曲第5番 第4楽章より
- ドビュッシー：3つの夜想曲から「祭」より

ほか

©アミューズ

2024 **10.19** 14:00開演
[13:30開場]
土曜日

レクザムホール
Rexxam Hall
〈香川県県民ホール〉
大ホール

お問い合わせ：県民ホールサービスセンター
〒760-0030 香川県高松市玉藻町9-10
☎087-823-5023

ラヴェル
「ボレロ」
披露！

入場整理券 **無料**

要入場整理券 自由席

※お申込み順に発券し、予定枚数(約1,600席)に達し次第受付終了します。

お一人様2枚まで

※お子様やご自身でのお申し込みが困難な方はこの限りではありません。

※未就学児をお連れの方は、親子室(先着順)で鑑賞いただけます。県民ホールサービスセンターまでお問い合わせください。

受付開始 令和6年 9月1日 [日] 10:00~

お申込み方法 県民ホールサービスセンター
(10:00~18:00)

電話 087-823-5023

窓口 高松市玉藻町9-10

インターネット予約 24時間受付

<https://kenminhall.com/visitors/ticket/>

※インターネット予約には手数料がかかります。予めご了承ください。



PROGRAM

「ピアノとオーケストラのための瀬戸内ファンタジー」 作曲:ミロ・ブラック
交響曲『瀬戸内ファンタジー』(宮崎朋菜作曲)にインスピレーションを受けたミロ・ブラックの作品。瀬戸内海の鼓動が響く、情熱的なリズムが印象的な曲です。

「ボレロ」

作曲:M. ラヴェル

管弦楽の魔術師と言われるラヴェルによるバレエ音楽でオーケストラ曲の中で、最も人気がある作品の一つです。同一リズムが保持される中で、2つの旋律が繰り返される特徴的かつ単調な構成ですが、鮮やかな色彩と圧倒的な高揚感をもちます。瀬戸内海国立公園指定80周年記念コンサートでも披露され好評を博しました。

「SETOUCHI THE MOVIE Sanuki film festival ver.」

編曲:久保哲朗 笙:大塚惇平 合唱:コール・ジュニア高松

「瀬戸内」をテーマに制作され、さぬき映画祭2018でプレミア上映されたドキュメンタリー映画です。総監督の本広克行氏が構成し、第一線で活躍する作曲家 久保哲朗氏によって、オリジナル楽曲のほか、ドビュッシー作曲交響詩「海」やブラームス、ブルックナー、マーラーの交響曲の一部などがアラカルトで編曲されています。



指揮者

松岡 究

Hakaru Matsuoka

指揮を小林研一郎、ヨルマ・パヌラ、ランベルト・ガルデッリに師事。音楽学を戸口幸策に師事。1991年文化庁在外派遣研修員としてハンガリーに留学。その間スウェーデン・アルコンスト音楽祭にヨルマ・パヌラより招待されタリナ国立歌劇場管を指揮。「卓越した才能」と激賞された。2004年～2007年にかけてローム・ミュージック・ファンデーションの音楽特別研究員としてベルリンにて研修。1987年～2008年東京オペラプロデュース指揮者としてグノー「ロメオとジュリエット」等10以上のオペラの日本初演を指揮し、「極めてバランス感覚に富んだ逸材」「オケから耽美的な音色を引き出し抜群」等新聞各紙、音楽雑誌等で絶賛された。このほかにも日本ロッシーニ協会の「ランスへの旅」(日本人初演)やブリテン「ねじの回転」(新国立劇場)などでも高い評価を得た。2009年～2012年日本オペレッタ協会音楽監督。2009年東京ユニバーサルフィル専任指揮者、2012年から常任指揮者に就任。また2023年4月から大阪府茨木市を本拠地とするアマ・ビレフィルハーモニー管弦楽団(20015年創立)の音楽監督兼常任指揮者に就任。



©Kentaro Igarashi

ソリスト

宮崎 朋菜

Tomona Miyazaki

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業後、チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院大学院に留学(ドレンスキー教授門下)、同音楽院大学院ピアノ科を優等で修了。1996年から今日にいたるまで、日本国内外で数々のピアノソロ・室内楽のリサイタル、オーケストラとの共演を実施。音楽院卒業後もリリーヤ・ジルベルシュテイン、ニコライ・トカレフ等現代最高峰ピアニスト達を多数育てたアーダ・M・トラウブ女史に師事し、正統派「ロシアピアニズム」とその「教授法の真髄」の追求を続ける。また、2014年からロシアのオリンピック選抜チームが活用した最先端生体エントロピー機器を使った音楽療法の開発チームに参加。2020年5月にはチャイコフスキーの人生観や宗教観に焦点を当てた『チャイコフスキー、その魂が歩んだ道』(ガリーナ・S・シズコ著)を翻訳・出版(Kindle版)。ピアノ曲集『四国八十八ヶ所お遍路巡礼の旅集』、オーケストラ曲『瀬戸内ファンタジー』等作曲も行う。香川県文化芸術新人賞受賞。高松市観光大使。2019年よりP.チャイコフスキーの子孫が理事長を務めるナジェジダ・フォン・メック記念国際チャリティー財団在日文化大使となる。

瀬戸フィルハーモニー交響楽団

Seto Philharmonic Orchestra

四国初のプロオーケストラとして定期演奏会をはじめ自治体、企業などへの出張演奏や文化団体との共演など多彩な演奏活動を展開している。特に、小・中学校を訪問しての音楽教室で音楽の楽しさを体感できる企画を盛り込み、音楽人口の拡大に取り組んでいる。

NPO法人として2001(平成13)年11月に設立。2009(平成21)年4月一般社団法人。2010(平成22)年1月公益社団法人に移行。2014(平成26)年11月香川県文化芸術選奨受賞。2016(平成28)年6月(公社)日本オーケストラ連盟に準会員として加盟。団員約60人。

お問い合わせ 県民ホールサービスセンター
〒760-0030 香川県高松市玉藻町9-10 ☎087-823-5023 (10:00～18:00)



SETOUCHI THE MOVIE Sanuki film festival ver.

ドキュメンタリー映画「SETOUCHI」は、「瀬戸内」をテーマに、知られざる美しい風景やイベント、人々の何気ない瞬間などを写し取った映像を使用し、瀬戸内の魅力を国内外に発信する作品として、さぬき映画祭2018においてプレミア上映され、高い評価を受けました。

2017年/50分

総監督:本広克行 監督:尾野慎太郎
製作:アミューズ 制作:Production I.G



©林舜龍「国境を越えて・潮」瀬戸内国際芸術祭/アミューズ

